



## 本会記事

# 第 15 回核融合エネルギー連合講演会 —核融合エネルギー産業の創出に向けて— 一般講演（ポスター発表）募集

昨今、地球温暖化に伴う世界的規模での異常気象の頻発を鑑み、脱炭素社会実現による地球温暖化回避が国連気候変動枠組み条約締結国会議を中心に提唱されております。核融合を用いて発電するフュージョンエネルギーは次世代のエネルギー源として世界的規模で大きく注目されています。米国や英国においては、地球温暖化対策やそれに伴う新たな産業創出の観点から、多くのベンチャー企業が立ち上がり、民間投資による核融合開発が活発に実施されております。また、日本においても、令和 4 年 9 月に政府が主導した有識者会議が立ち上がり、エネルギー安全保障及び経済安全保障の観点から、人類の永続的な繁栄につながるエネルギーの安定供給やフュージョンエネルギーを起点とした新たな産業創出に関するイノベーション戦略が令和 5 年 5 月に策定されています。

我々核融合コミュニティは、次世代のクリーンエネルギー源としてのフュージョンエネルギーの早期実用化を使命とし、研究開発活動を強く推し進めています。核融合実験炉 ITER では、ファーストプラズマに向けて、現地の整備及び機器の製作や組み立てが着実に進展しております。並行して、EU と日本とで進められている幅広いアプローチ活動においては、量子科学技術研究開発機構にて補修作業を終了した JT-60SA が、2023 年 5 月から統合試験を再開し、同年 10 月に、初トカマクプラズマを達成したところです。また、材料開発のための加速器イオン源においては、イオン源（入射器）で要求を超える性能を達成する等、開発は着実に進展しています。加えて、核融合科学研究所においては、核融合科学の学術研究を大きく進展させる体制を整えるとともに、大阪大学でも慣性核融合装置 GEKKO-XII/LFEX レーザーを用い、効率的な核融合点火をめざした研究が進められています。これらの開発に加えて、民間投資によるベンチャー企業が設立され、核融合の開発研究を活発に進めるとともに、核融合の技術を他分野の産業に社会実装するためのベンチャーも立ち上がっております。

このような核融合開発の大きな節目において、第 15 回核融合エネルギー連合講演会を、(社)プラズマ・核融合学会と(社)日本原子力学会との共同主催の下、関連学協会の協賛及び後援を得て、下記の要領で開催いたします。本講演会は、脱炭素社会を見据えたフュージョンエネルギー実現に向けて加速する研究開発成果の発表・議論と共に、核融合研究の拡がりについて広範な議論を展開する貴重な機会となっております。多数の皆様のご参加を得て、活気ある討論を展開したく、多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

組織委員長 安藤 晃（プラズマ・核融合学会会長）

1. 会期：2024 年 6 月 13 日（木）～ 14 日（金）

2. 会場：青森県八戸市公民館

### 3. 講演者の資格

主催学会（プラズマ・核融合学会・日本原子力学会）  
ならびに協賛学協会の会員（詳細は Web 参照）。

### 4. 一般講演の制限

一般講演は代表として一人一件に限ります。ただし、招待講演、特別講演、およびシンポジウム講演に関しては、発表件数制限はありません。

### 5. 一般講演の発表形式：ポスター発表

発表言語：日本語、または英語  
発表資料および講演予稿：日本語または英語

### 6. 講演募集分野

連合講演会の趣旨にそったもので、以下に記す分野において最近行われた研究の紹介、トピックスのミニレ

ビューなど、学術的に価値のあるものに限りません。

### 一般講演募集分野：

A) 炉設計, B) マグネット, C) ブランケット, D) ダイバータ, E) 加熱・電流駆動システム, F) 炉心プラズマ, G) 核融合燃料システム, H) 炉材料と規格基準策定, I) 安全性と安全研究, J) 稼働率と保守性, K) 計測・制御, L) レーザー方式の研究開発, M) 社会経済研究・社会連携の推進, N) プラズマ基礎・応用, O) 核融合中性子源, P) その他関連研究

### 7. 講演申込期限

Web による受付締切：2024 年 3 月 18 日（月）昼 12:00

- 一般講演申込は、原則として Web 受け付けます。【Web 講演申込記入上の注意】に従って、期限までに申し込んでください。
- Web での申し込みは上記期限を過ぎますとアクセスできなくなりますのでご注意ください。
- Web 登録が受け付けられると、登録完了画面が表示さ

れ、受付番号を記載した電子メールが連絡代表者に送られます。この電子メールが届かない場合は正常に登録されていないことが考えられますので、その場合には3月20日(水)までに必ず事務局までご連絡ください。

- 発表の可否、講演番号は4月中旬、電子メールでお知らせします。
- 講演申込で登録された登壇者名、講演題目がそのままプログラムに記載されます。受付・締切後はこれらの項目の変更は認められません。
- やむを得ず当日に講演できなくなった場合には、速やかに事務局に連絡してください。

## 8. ポストデッドライン (PD) 講演

- 講演申し込み締切後に、有意義でかつ緊急に発表する価値があると認められる結果が得られた場合には、ポストデッドライン講演として申し込むことができます。
- Web ページでの指示に従い、5月13日(月)～5月17日(金)17時までに事務局まで所定の内容を電子メールで送信してください。
- 申し込み内容は事前に審査され、5月24日(金)までに採択結果を通知します。
- 審査の結果、発表が認められない場合もあります。
- 若手優秀発表賞の対象にはなりません。

## 9. 講演予稿集について

Web による講演予稿原稿提出期限：  
2024年5月10日(金)

- Web ページ掲載の【予稿原稿作成上の注意】に従って、必ず期限までに予稿原稿を提出してください。
- 提出期限後においては、すでに提出された予稿原稿の内容書き換えあるいは掲載取り下げは認められません。
- 5月24日(金)以降に全ての予稿をWeb ページ上で公開いたします。ただし、予稿を閲覧する際には参加事前登録の返信メールでお知らせするパスワードの入力が必要です。
- 予稿は冊子体では配布いたしません。予稿はWeb ページから、必要に応じてダウンロードするなどしてご利用ください。
- 今回、プログラム冊子は印刷配布いたしません。必要な情報は各自でダウンロードするなどしてください。

## 10. 参加費

- 参加費は、主催学会ならびに協賛学協会の正会員 6000 円、非会員 7000 円、学生会員 3000 円、学生非会員 3500 円です。
- いったん払い込まれた参加費は返金いたしません。
- ウクライナ情勢に関する輸出禁止措置等(対ロシア等制裁)\*の取引先に該当する場合、本年会への参加はできません。

\* [https://www.meti.go.jp/policy/external\\_economy/trade\\_control/01\\_seido/04\\_seisai/crimea.html](https://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/01_seido/04_seisai/crimea.html)

## 11. 若手優秀発表賞

本講演会で大変優秀な発表を行った若手(博士の学位取得後5年以内、学部卒業後10年以内もしくは、学生の方が対象)のかたがたに、若手優秀発表賞を授与いたします。受賞者には、講演会最終日の閉会式にて、表彰式を行います。

- 若手優秀賞候補者として申請を予定されている方は、一般講演申し込みの際に、申請用フォーマットへの入力も必要です。
- 申請用フォーマットには以下の項目を入力します。
  - (1) 研究の背景と目的：研究の動機や目的について、国内外の関連する研究動向を踏まえて記述してください。
  - (2) 研究の意義・新規性：当該分野における研究の意義・重要性、およびこの研究の新規性や独創性について説明してください。
  - (3) 研究成果の概要：この研究の成果の概要、あるいは期待される成果について説明してください。
- 詳しくはWeb ページをご覧ください。

## 12. 懇親会

講演会初日、6月13日(木)夕刻、懇親会を行います。お誘い合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。詳しくはWeb ページをご覧ください。

## 13. 連絡先

第15回核融合エネルギー連合講演  
(プラズマ・核融合学会事務局内)  
E-mail: plasma@jspf.or.jp Tel: 052-735-3185

\* 最新の情報は講演会 Web ページにてご確認ください  
<https://www.jspf.or.jp/15rengo/>